

令和6年7月25日

独立行政法人農業者年金基金（理事長 黒田夏樹）は、このたび、東日本高速道路株式会社が発行したソーシャルボンド（以下「本債券」といいます。）を取得しました。

※「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資する事業に充当することを調達資金の用途とする債券です。

本債券発行による調達資金は、高速道路の新設、改築、維持、修繕その他管理を効率的に行うこと等により、道路交通の円滑化を図ることから、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するとともに、国民経済の健全な発展と国民生活の向上への貢献が期待されます。

当基金は、「スチュワードシップ責任を果たすための方針」（平成26年9月18日制定）のもと、ESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮の上、運用受託機関を通じて投資先企業の企業価値の向上や持続的成長を促す活動を行ってきました。

今後とも、こうした活動を通じて、加入者の皆様の老後の生活の安定及び福祉の向上、さらには農業の持続的な発展に資するように努めてまいります。

本債券の概要

銘 柄	東日本高速道路株式会社第115回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）
総 額	260億円
年 限	10年
発 行 日	令和6年7月25日
格 付	R&I：AA+、ムーディーズ：A1

（照会先）

資金部企画課 菅原、佐久間、中村
TEL：03-3502-3898